

天溪 2016 年「紅葉カナディアンロッキーとオーロラ 10 日間」

「紅葉カナディアンロッキーとオーロラ 10 日間」を9月21日～9月30日に行いました。

「3 夜滞在すればどこかでオーロラが見られる」と言われるイエローナイフは北緯 62 度、カナディアンロッキーの玄関口カルガリーから飛行機(プロペラ)で 2 時間半、約 1000Km 北方に位置します。そこで昨年からカナディアンロッキーの紅葉とオーロラを組み合わせたツアーを行っています。万一、オーロラが見えない時は紅葉のカナディアンロッキーが有り、そのフォローとして最高です。昨年はあいにくオーロラを見ることが出来ませんでした、今年は素晴らしい姿を見せてくれました。



(緑の山火事・レベル 4 9/22 日)

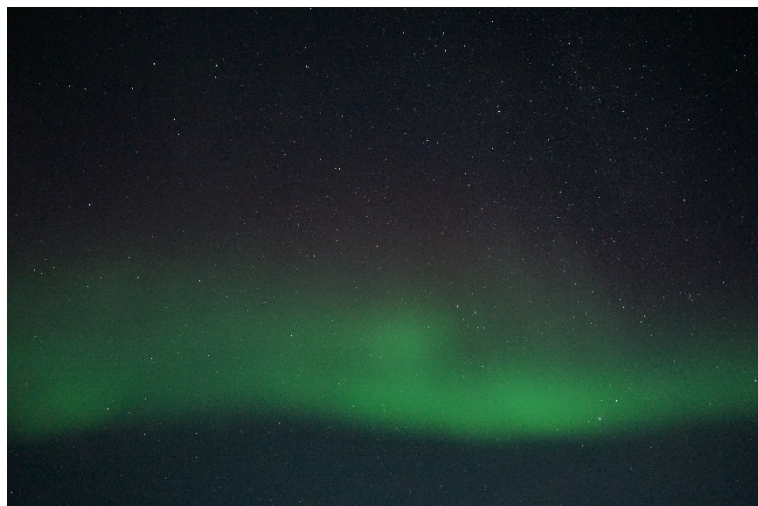
○イエローナイフのオーロラ

日本の皆様の感覚ではオーロラは冬と思いがちですが、実は一年中現われています。イエローナイフはオーロラベルト(北緯 60-65 度)の下に有り、8 月に入るとオーロラウォッチングが始まります。この時期の気温は最低でも 0 度程度で特に寒さ対策の必要も有りません。今年は念願かなって美しいオーロラが滞在 3 日の内 2 日出現、それもオーロラアクティビティのレベル 4 が!!

※月齢 20 と結構明るかったものの、オーロラは月の明るさをもともせず美しく現れました。

※裸眼で見るオーロラはどちらかと言えば白色ですが、カメラを通すと鮮やかに変わります。

※オーロラ鑑賞は日本人が中心でしたが最近では中国、韓国の人達も大勢訪れます。何故か欧米人は興味が無い様です。



(赤色オーロラ・レベル 4 9/21 日)



※9月23日のイエローナイフ



(フォッスル・マウンテン 9/27日)

○センチネルパス

9月20日頃に積もった雪が消えずに残り、あたかも初冬の雰囲気。しかし、カナダ有数の景勝地ラーチバレーは丁度日曜日と相まって今迄見たこともない大勢のハイカーが過ぎゆく唐松の紅葉やテンピークスの山並みを楽しんでいました。余談ですが 1000Km南に位置するバンフの方がイエローナイフより数段寒くビックリ。恐らくジェット気流が大きく蛇行しているものと思われます。



(新雪のラーチバレー 9/25日)

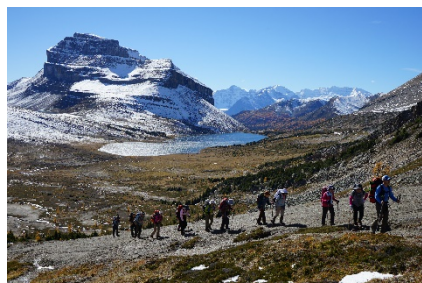


○スコークィ前半

スコークィ入山のこの日は北米特有インディアンサマーの予報。気温は少し低めでしたが予報が当たって快晴で絶好のハイキング日和に。薄っすら残る新雪にカラマツの紅葉が映えます。昨日のセンチネルパスと打って変わりスコークィバレーは行交う人も無く静寂な中を進みました。この地は東西 50Km、南北 200km、私達含めロッジ泊 24 名、多めに見積もってテント泊 20 名、その他はクマや狼やシカなどの動物達だけ、想像しただけでも広大な自然を独り占め出来る所です。



(デセプション・パス 9/26 日)



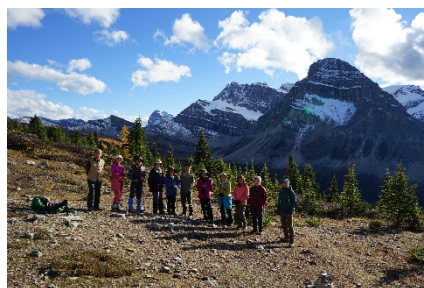


○スコーキ後半

スコーキ 2 日目はカナダに来てから初めて一寸愚図ついた空模様。全くの悪天候では有りませんがこの時期の雨は体を冷やし危険なのでマリンレイクで引返しました。余った時間でロッジの裏からスコーキ山中腹の森林限界まで登り、遥かに続く紅葉を堪能。3 日目下山日は天気が持ち直し、細波の立たない鏡の様なスコーキレイク湖畔を通り、パッカーズパスを越え、満足度 120% でバンフへ戻りました。



(スコーキレイク 9/28 日)



※来年はカナダ建国 150 周年に当たりパークス・カナダが国立公園の入園料を無料にするとか(カナダ人)、ドルの為替差から(アメリカ人)、慢性的に溢れる(中国人)で恐らく来年のカナディアンロッキーのホテル手配が難しくなると勝手に思っています。ご希望の皆様はお早めにご検討下さい!!

次は今年最後のツアー、ヒマラヤのエベレスト街道 5350mまで登る 11 月 9 日発「エベレスト街道 ゴーキョピーク 16 日間」をお伝えます。